

「海のいのち」ポスター・セッション

めあて

説明役

自分の考えが聞き手に伝わるように説明する。

○根きよや理由をはっきり

○ポスターの示し方など伝わる話し方

聞き役

友達と自分の感じ方のちがいに注意して聞く。

○感じ方のちがうところや同じところに注意

○感想：相手の考えを認めながら

発表準備

説明役の発表…三分

聞き手の感想…五分

場所移動

発表の順番

聞きながらメモするのが難しいようなら、発表後にメモを書く時間を1～2分位置付けてもよいでしょう。

一回目 Aグループ ○時〇分～〇時〇分（十分）

二回目 Bグループ ○時〇分～〇時〇分（十分）

三回目 Cグループ ○時〇分～〇時〇分（十分）

学習のふり返り

11 / 11 時間目 指導略案

使用するワークシート…⑨（聞き取りメモ）  
⑩（単元の振り返り）

活動のねらい

発表する内容を分かりやすく説明したり、友達と自分の感じ方の違いに注意しながら聞いたりすることができるようになる。

\*（ここでは一時間の計画になっていますが、学級の状況に合わせて時間数を増やすことも考えられます。）

1 本時の見通しをもつ。

○説明役と聞き役になったときのめあてとポスター・セッションの進め方の確認をする。

2 ポスター・セッションを行う。

①説明役がポスターを示しながら物語が最も強く語り掛けてきたことについて、自分の考えを説明する。

②聞き役は、説明役の発表に対し、感じ方の違いに注意しながら聞き、感想を述べる。

○聞き役には聞き取りメモを取らせるようにし、感想を述べる際に利用させるようにする。

③説明役が聞き役に感想を求め、聞き役は自分と感じ方の違うところや同じところを挙げながら感想を交流する。

○友達との考えの違いを受け止め、自分の考えを広げたり深めたりすることにつながるように示唆する。

○時間が足りず感想が言えなかったときには、付せんに感想を書かせ、場所移動の際に説明役に渡すようにさせる。

\*この①②③の活動を全員の発表が終わるまで繰り返す。

評価 発表する内容を根拠や理由を明確にして説明することができる。（説明役）

友達の発表を自他の感じ方の違いに着目して聞くことができる。（聞き役）

3 本時の学習を振り返り、自己評価をする。

4 単元の振り返りをする。

○本単元の学習の目標に照らしながら、本単元の学習を振り返らせる。

\*教科書では、このあと同じ作者（立松和平）についての読み広げが計画されています。本プランでは、並行読書として本単元が始まる前から関連図書を教室に置いて読ませるようにしました。学級・学年の状況に合わせて行ってください。読み広げを行う際には、関連図書のチェック表を作成し配布しておく、子どもたちの読書意欲も高まるでしょう。